

## 発声・発語が不明瞭な子どもたちは、どこにつまずきがあるのでしょうか？

聞き取りやすい言葉話すために、どんな力が必要なのでしょう？  
そのアセスメントの視点をいくつかお伝えできればと思います。

### 伝えようという気持ち

- ・「この相手に伝える」という思いがないと伝わらない
- ・自閉スペクトラム症の子どもは、これが弱いために伝わりにくいこともある

### 正しい言葉を知っている？

- ・そもそも正しい音を聞けているか
- ・知的能力として話す力はあるか
- ・単語の音の数が分かるか

### 良い姿勢はとれている？

- ・肩に力が入りすぎている、極端に腰を反っているなど、姿勢の崩れにより顎や舌の周りに力が入りすぎて、話しにくくなることもある



### 呼気のコントロール能力

- ・言葉が尻窄みになって消えてしまう
  - ・声が小さすぎて聞き取れない
  - ・あまりにも早口
- もしかしたら、呼気（息を吐く）の力が弱いのかも…

### 舌や唇はしっかり動く？

- ・発音が苦手な子どもは、この舌や唇をしっかり動かすことが苦手
- ・舌を上下左右に動かしたり、回したりできる？
- ・ぶくぶくうがいやガラガラうがいはできる？



呼気のコントロールに課題のある子どもには・・・

### 例えば、こんな支援方法

#### 【呼吸動作の練習】

- 息を出す（多少・強弱・平均）
- ・シャボン玉：いろいろな大きさのシャボン玉を作る
- ・玉吹き：息を強くしたり弱くしたり、持続させたりする

\*その他、声帯・口蓋垂などの動きや噛み合わせなども関連してきます。

遊びながら楽しくできればいいですね！！